



# のびっ子のかがやき

## 上天草部会陸上記録会

9月28日(木)に上天草部会陸上記録会が松島陸上競技場で開催されました。快晴の下、市内の全小学校から5年生、6年生が集い、「走る・跳ぶ・投げる」といった陸上競技に参加し、自己記録の更新に挑みました。のびっ子たちも2学期のスタートとともに続けてきた練習の成果を発揮しました。種目によっては上位入賞したのびっ子もいました。みなさん、よく頑張りました。

### 〔上位入賞したのびっ子たち〕

#### 〔5年生の部〕

- 男子800M・・・2位 木下聖叶愛くん 3位 島崎 梨央くん
- 男子走り幅跳び・・・6位 鎌田 響矢くん
- 男子ボール投げ・・・5位 西 千翔くん
- 女子100M・・・2位 松山みちるさん 2位 田中杏花さん
- 女子800M・・・1位 田中杏花さん 4位 森本 和さん
- 女子走り幅跳び・・・5位 松山みちるさん
- 女子ボール投げ・・・2位 西山心乃さん
- 女子400MR・・・1位

#### 〔6年生の部〕

- 男子100M・・・3位 篠田一翔くん
- 男子走り幅跳び・・・5位 篠田一翔くん
- 男子ボール投げ・・・3位 小川将吾くん
- 女子100M・・・4位 小嶋彩瑞さん
- 女子800M・・・1位 小嶋彩瑞さん
- 女子走り高跳び・・・4位 海崎愛菜さん



## 絵画コンクール

「九電・熊日ぼくとわたしの『あかるい』絵画コンクール」において、宮元紬さん(1年)の作品が優秀な評価(県銀賞)を受けました。紬さんはクラスの友達と楽しく過ごす様子を表現したそうです。とても楽しく、子供たち同士のつながりが伝わる作品で、心がポカポカしてきます。紬さん、おめでとうございます。もっともっと、お友達となかよく、元気で明るいクラスにしてください。



「あかるいなかま」  
1年 宮元 紬さん 作

## 「SASUKE-NOBO」

テレビでお馴染み「SASUKE」(障害物をアクションゲームのようにクリアし、完全制覇を目指す巨大フィールドアスレチック)が本校にも誕生しました。のびっ子の体力向上の取組として藤本教諭(体育主任)の発案で実現したものです。実際には、校内遊具を利用したサーキットコースです。運動場の全遊具を用いて、使い方を工夫しながら進むコースチャレンジとなります。先日は、そのプロモーション動画を体育委員会が紹介しました。のびっ子たちに、どんどんチャレンジしてもらい、たくましい体を作ってほしいと願います。プロモーション動画については、今後HPIにアップしたいと思います。



「4分間以内にクリアできるように挑戦してみてね」体育委員会より

## 集会活動

児童集会は2学期になって初めての「NBTのびっこタイム」でした。今回も楽しく、ためになる話題が提供されました。環境保全に関する取組とあいさつの取組です。企画運営してくれたのびっ子会のアイデアと行動力に感心しました。

## 集団宿泊活動

10月19日～20日に5年生が集団宿泊体験活動に参加しました。県立天草青年の家を拠点に自然を舞台に力いっぱい活動しました。宿泊を伴う体験活動で、たくさんの時間を仲間と過ごし、日頃実感できない関わりを持ちました。活動でも海ではペロン漕艇、山では追跡ハイキング、製作では焼き杉づくりと盛りだくさんの二日間でした。掲げた3つのめあて「自然の美しさ、大切さ」「集団生活のルール・マナー」「仲間との協力」が達成できたのびっ子たちでした。今回は大矢野町全小学校の5年生との共同実施でもあり、中学進学後の仲間となる人たちとの交流もしっかり図れたようです。



## のびっ子に伝えたこと

釘は抜けばいいんじゃない  
打ち込んではいけない



アメリカ合衆国の初代大統領ワシントンの幼い頃のお話です。ワシントンは相当ないたずら坊主でした。困ったお父さんはワシントン呼んで「これからお前が悪いことをしたら、台所の柱に釘を一本打ちこむ。その代わりに、悪いことしたら一本抜く。」と言いました。こうすれば、いたずらが減ると思ったのです。しかし、なかなかいたずらはやまず、柱は釘だらけになりました。やがて、ワシントンも考えるようになって、優しい心を見せたり、人を助けたりするようになりました。そのたびごとにお父さんはだまって釘を抜きました。減ったり、増えたりが続きましたが、ある日とうとう釘が最後の一本になりました。お父さんはワシントン呼んで、最後の釘を抜きました。そして、柱をなでさせ「お前は本当に善い子になった。ごらん、釘はもう一本もない。」と言いました。ワシントンは父に誉められて、うれしそうに釘のなくなった柱を触りました。そして、お父さんはこう続けたのです。「この柱に釘は1本もなくなった。だが、見てごらん。この釘の穴は直すことができない。神様でなければ、この釘の穴を元通りにすることはできないんだよ。」「釘が打たれた後の穴は、そのまま残るんだ。いくらあやまっても、いくら良いことを重ねても、一度傷つけた心の傷は消えない。だから、決して人を傷つけてはいけないんだ。」と言いました。その後のワシントンは、いつも「釘は抜けばいい」ではなく、「釘を打ち込んではいけない」との考えのもと、大統領として素晴らしい仕事をしたと言われています。みなさんはどうでしょうか。自分自身、そして、自分の周りの人に、「一生消えない釘の穴」を作っていないでしょうか。私は、この話から、自分で気づき、考えることがいかに大切か。そして納得して行動することが自分を変えることにつながるのだということにあらためて感じました。自分の生活に生かせることはありましたか。ワシントンが見つけた自分は、どんな自分だったのでしょうか。

**NBTのびっこタイム**

今日のニュースキャスターは  
栗原りこ・宮本あんな です。  
今日のニュースは、ペットボトルキャップ回収(環境委員会)の様子  
と  
のびっ子あいさつ人を紹介します。

いったい、だれが作ってくれたのでしょうか。

本多まさこせんせいの家ぞく

**SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS**

新しいペットボトル  
キャップ入れの中には、  
たくさんキャップが  
入っていました。

集めるのに少しはへんそうでしたが、環境委員会のみんで協力しながらペットボトルキャップを集めました。

**SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS**

地球のために、きれいな  
海のために自分ができること、  
それがSDGs宣言です。  
6年生だけでなく、5年生  
のSDGs宣言も完成しました。

みんなも書いてみませんか。

**マイSDGs宣言**

ペットボトルキャップを、たくさん自分であつめてもってくる。